

研究機関：広島大学

研究課題名	呼吸器腫瘍組織由来のオルガノイドを用いた遺伝子発現、薬剤感受性の解析
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科（薬） 准教授 高橋 陵宇
研究期間	2016年11月(許可日)～ 2026年 3月
対象者	2016年11月から2026年3月の間に、広島大学病院呼吸器外科で肺がん・中皮腫の治療を受けられた患者。
意義・目的	2009年に『オルガノイド』と呼ばれるヒトの幹細胞を生きた状態のまままで培養し、その小さな細胞の集団(組織)を培養し続けることができるという研究成果が報告されました。近年益々研究が発展し、癌細胞の中の幹細胞を同じ方法で培養し、癌細胞の遺伝子の特徴の研究や新しい治療法の開発のために役に立てようという試みがなされています。ご提供頂いた呼吸器腫瘍組織を材料にオルガノイドを樹立し、遺伝子の解析を行い、新しい診断法、治療法に繋がる癌の遺伝子異常を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は身長、体重、性別、血液検査(CEA・CA19-9・DUPAN-2・AFP・PIVKAlI・CYFRA・SCC・NSE・ProGRPなどの数値)、および、手術で摘出された腫瘍の病理検査の結果です。(個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	ありません
試料・情報の管理責任者	広島大学 原爆放射線医科学研究所 准教授 宮田義浩
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5869 広島大学病院呼吸器外科 職名 教授 岡田 守人